

2016年12月16日

## 時報サービス「117」の「うるう秒」調整の実施について

NTT東日本およびNTT西日本(以下、NTT東西)は、時報サービス「117」において2017年1月1日(日)に「うるう秒」の調整を行います。

### 1. 概要

日本標準時の維持・通報を実施している国立研究開発法人 情報通信研究機構が、2017年1月1日(日)に「うるう秒」の調整を行うことに伴い、NTT東西の時報サービス「117」においても「うるう秒」の調整を実施します。なお、1972年7月1日に第1回の「うるう秒」の調整を行い、今回で27回目の実施となります。(前回のうるう秒の調整は、2015年7月1日に実施しました)。

### 2. 調整方法

NTT東西の時報サービス「117」は、国立研究開発法人 情報通信研究機構の調整方法と同様に、2017年1月1日(日)の午前8時59分59秒と午前9時00分00秒の間に「8時59分60秒」を1秒挿入し、日本標準時刻に合うようにします。

但し、加入電話(電話サービス)及びINSネット(総合デジタル通信サービス)から発信した場合と、ひかり電話(IP電話サービス)から発信した場合では、ガイダンスの聞こえ方が異なります。

※ ガイドンスの聞こえ方については別紙参照

### (参考)時報サービス「117」について

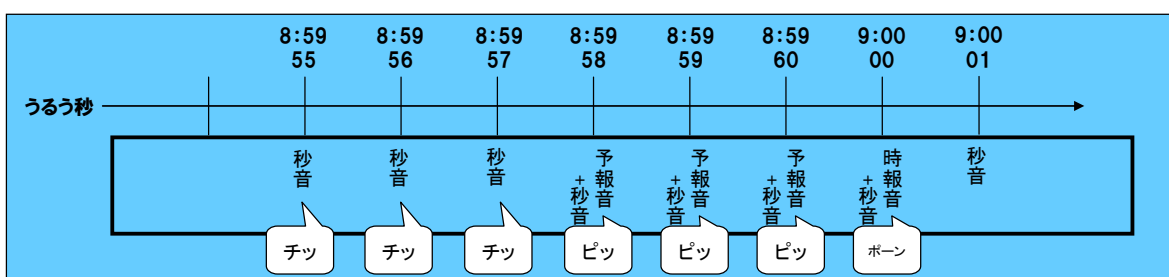
時報サービスは、1955年6月10日に「時の記念日」を期して、東京で試行サービスとしてスタートしました。当初は、地域により番号が異なっていましたが、1964年3月から「117」に全国统一し、正確な時刻を手軽にかつスピーディーに確認できるサービスとして長年親しまれ、多くのお客さまにご利用いただいております。

【別紙】

加入電話(電話サービス)、INSネット(総合デジタル通信サービス)とひかり電話  
(IP電話サービス)のうるう秒における時報サービス「117」のガイダンスについて

・加入電話、INSネットから発信した場合のガイダンス

午前8時59分58秒から予報音(ピツという音)を3回(58秒、59秒、60秒)鳴らし、時報音(ポーンという音)を午前9時00分00秒に1回鳴らします。



・ひかり電話から発信した場合のガイダンス

午前8時59分57秒から予報音(ピツという音)を3回(57秒、58秒、59秒)鳴らし、時報音(ポーンという音)を午前8時59分60秒と午前9時00分00秒の2回鳴らします。

